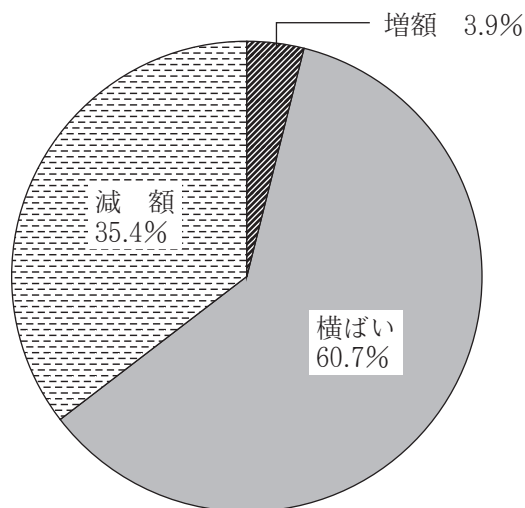


2009. **12**
No. **140**

調査レポート

平成21年冬季
県内民間ボーナス支給見通し
— 昨冬を上回る先で減額を予定 —

冬季民間ボーナス支給見通し（全産業）



「第67回県内企業経営動向調査」から



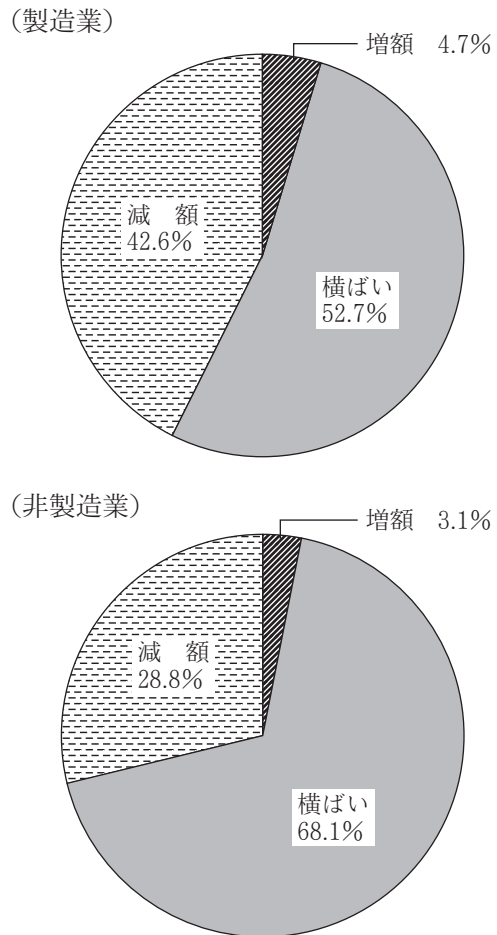
山梨中央銀行

当行の第 67 回県内企業経営動向調査（10 月上旬実施、回答企業 323 社）によると、今冬のボーナス支給予定額は、昨冬の支給額に対して「増額」回答先割合が 3.9%（昨冬調査 3.8%）、「横ばい」回答先割合が 60.7%（同 73.0%）、「減額」回答先割合が 35.4%（同 23.2%）となった。

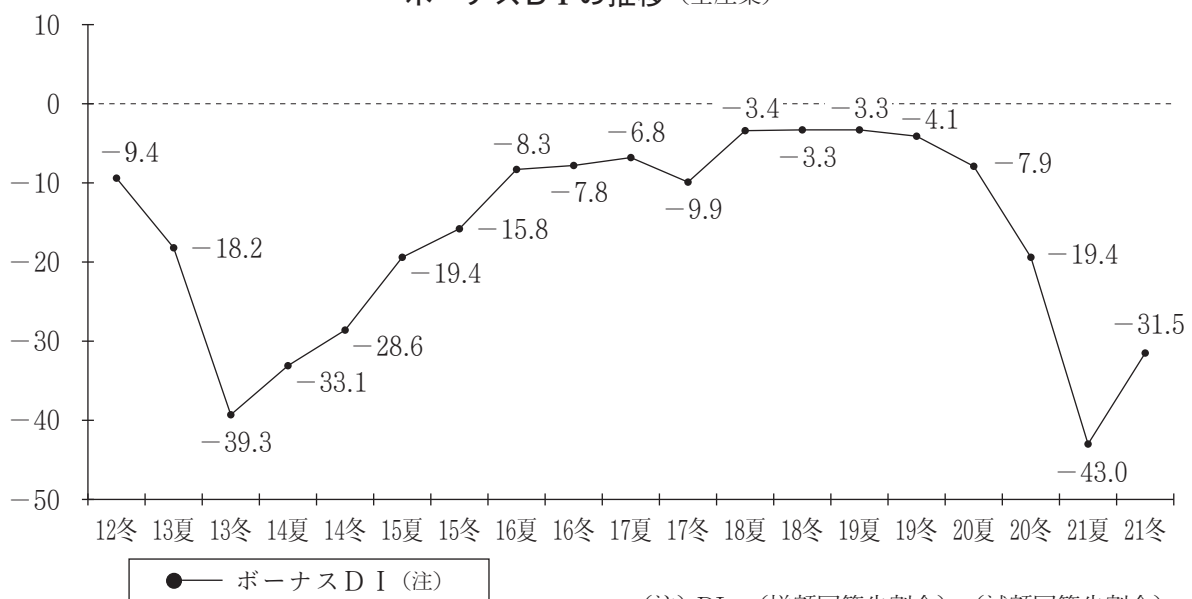
この結果、冬季のボーナス D I（「増額」回答先割合－「減額」回答先割合）は、昨冬（△19.4）と比べて 12.1 ポイント低下の△31.5 となり、昭和 52 年 4 月の調査開始以来、冬季としては過去 3 番目に低い水準となった。このように、今冬のボーナスは、引き続き厳しい状況が予想される。

ボーナス支給に影響を与える要因のひとつである県内経営者の景況感等は、慎重である。今回実施した企業経営動向調査によると、21 年度上期の業況 D I（「良い」回答先割合－「悪い」回答先割合）は、△60.7 と過去最低に近い水準に止まっており、21 年度下期は下げ止まる

冬季民間ボーナス支給見通し



ボーナス D I の推移（全産業）



(注) DI = (増額回答先割合) - (減額回答先割合)

とはいえ、総体では「横ばい」を見込んでいる。一方、企業収益は、21年度下期に「増益」を見込んでいるが、上期は減益傾向が続いた。

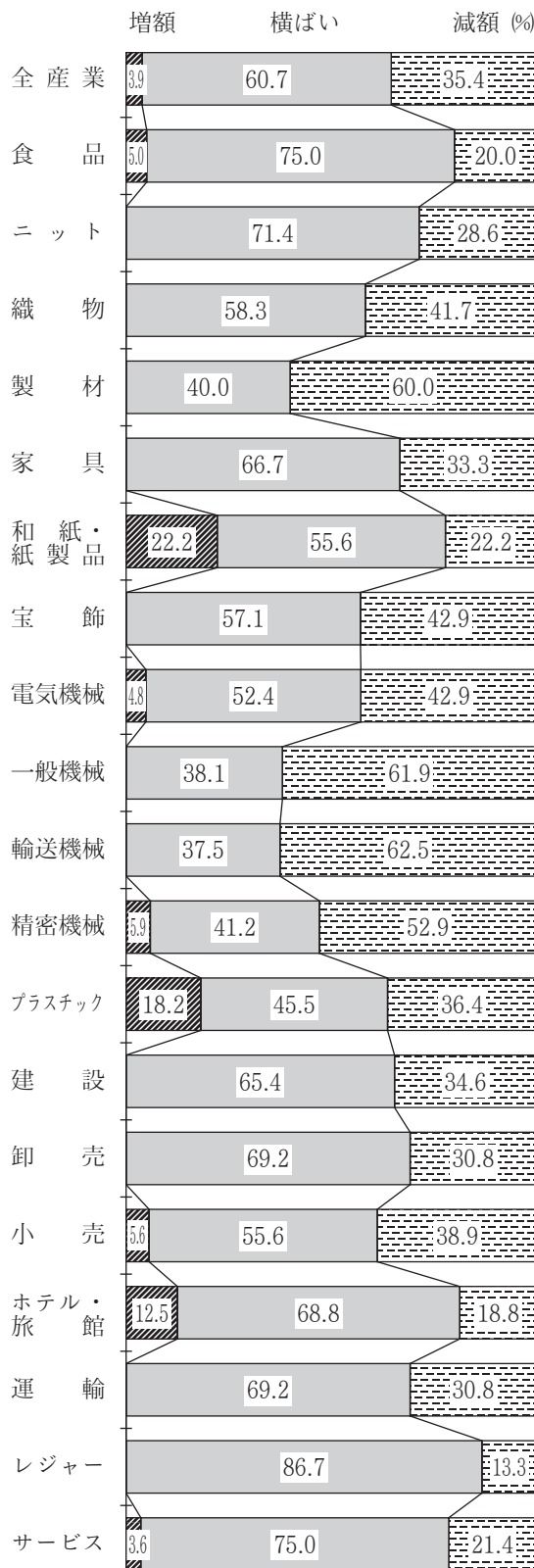
影響を与えるもうひとつの大きな要因である雇用情勢も、依然として緩和状況にある。有効求人倍率は低下局面を脱し上向く兆しをみせているが、1倍を大きく下回る状況にある。また、企業経営動向調査における雇用の充足感は、受注回復の遅れから高水準の「過剰」となっており、受注の回復がみられる先でも、新規雇用については消極姿勢にある。

こうした、企業業績や雇用情勢を背景に、ボーナス支給額を削減する動きが依然続いているものと思われる。

業種別にみると、製造業は、「増額」回答先割合が4.7%（昨冬6.4%）であるのに対し、「減額」回答先割合は42.6%（同22.4%）となり、ボーナスDIは△37.9（同△16.0）となった。このうち、機械関連では、減額先が電気・一般・輸送・精密の各業種とも全体の42.9～62.5%に達しており、増額先は2社に止まっている。一方、地場産業関連では、和紙・紙製品が全体として「横ばい」となっており、食品、ニット、家具などでも7割前後の先で「横ばい」としているが、製材、宝飾、織物などでは減額先が比較的多くなっている。

非製造業は、「増額」回答先割合が3.1%（昨冬1.3%）、「減額」回答先割合が28.8%（同23.9%）、ボーナスDIが△25.7（同△22.6）となり、製造業同様に減額傾向が強まっている。このうち、ホテル・旅館でほぼ「横ばい」を予定しており、レジャー、サービスでも横ばい先が7割を超えているが、建設、卸売、小売、運輸などでは、減額先が比較的多くなっている。

冬季民間ボーナスの業種別支給見通し



山梨中銀

年末ローン

〈お取扱期間〉
平成21年11月2日(月)～平成21年12月30日(水)

中小企業・個人事業主のみなさまの事業発展にお役立ていただく
ためのご融資です。

賞与資金など年末資金としてお気軽にご利用ください。

お申込み いただける方	中小企業・個人事業主の方で、1年以上同一事業を営まれており、今後も継続して事業を営まれる方
お使いみち	事業に必要な運転資金
ご融資金額	1,500万円以内（無担保の場合は、1,000万円以内）
ご返済期限	平成22年5月31日(月)
ご返済方法	分割返済または期日一括返済

※審査の結果によってはご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

●お問い合わせは、お近くの〈山梨中央銀行〉の窓口、
または下記フリーダイヤルまでお気軽にどうぞ



0120-201862

照会コード

9

受付時間/9:00～17:00(月曜日～金曜日)
ただし、銀行休業日は除きます

ふれあい、さわやか

山梨中央銀行